

“芦田川きれい☆きれいプロジェクト 『河川浄化社会実験』” 調査結果報告（津之郷地区）

H21.1.28

◆ 調査まとめ ◆

- 実験をととして、日頃から家庭でできる水質浄化の取り組みが重要であることがあらためて確認でき、芦田川流域の皆さんに広くPRしていきたいと思います。
- 今後、このような芦田川の浄化に向けた草の根運動が契機となって、流域住民の皆さんに水質浄化の取り組みが定着し、芦田川流域全体に広まっていくことを期待します。

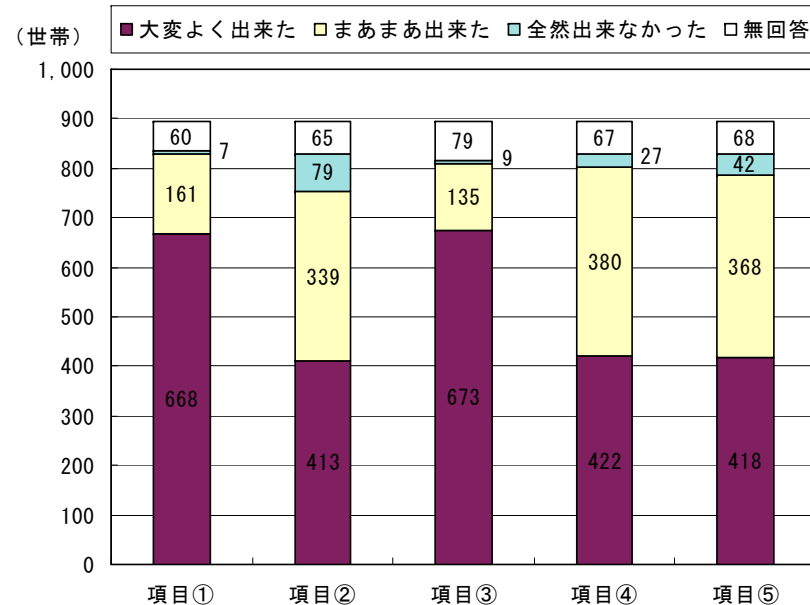
◆ 調査スケジュール ◆

- ・ 平成 20 年 10 月 20 日～ 地元住民説明会（～30 日：計 10 回開催）
- ・ 平成 20 年 10 月 23 日 水質測定
- ・ 平成 20 年 11 月 2 日～ 水質浄化の取り組みの実践（約 1 ヶ月）
- ・ 平成 20 年 11 月 13 日 水質測定
- ・ 平成 20 年 11 月 29 日 水質浄化の取り組み終了
- ・ 平成 21 年 1 月 結果報告

◆ アクションシート集計結果 ◆

約 1 ヶ月の流域住民の皆さんの取り組み状況について、アクションシートの集計結果より、項目①、項目③はよく実施されており、項目②や項目⑤、等に比べて取り組みやすい項目であることがわかります。

※アンケート回収世帯数：896 世帯（／流域世帯数：1250 世帯）



項目①：調理くずや食べ残しを流さない

項目②：汚れのひどい鍋、食器類は、ふき取ってから洗う

項目③：食用油は直接流さず、紙にしみ込ませたり、固めたりして捨てる

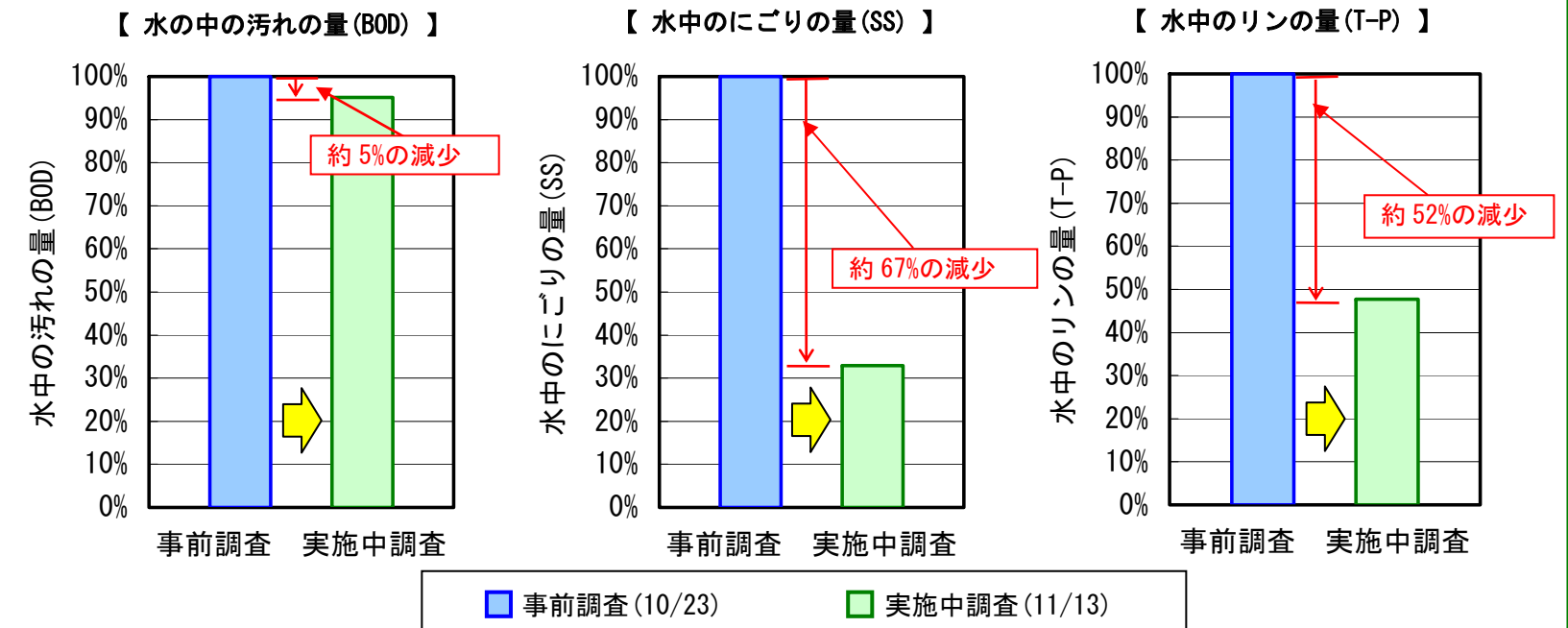
項目④：食器類を洗う時に、洗剤の使用量を減らす

項目⑤：洗濯の時に、洗剤の使用量を減らす

◆ 調査結果 ◆

取組前後の水質調査より、下図に示すような結果が得られました。

今回の調査では、事前調査時に降雨があり、その影響を受けているため、汚濁負荷の減少率は実際の削減率に当てはまりませんが、アクションシートやQ3の集計結果に見られるように、項目①～⑤について、流域住民の皆さんが新たに実践活動を展開するなど積極的に取り組んで頂いた結果、生活排水等の汚れの量が削減されたものと考えられます。



◆ 参加者の声 ◆

意識の変化や今後の取り組みへの決意など、流域全体へ取り組みを展開していくことが期待できる積極的な意見が多数見受けられました。

- この実験を通して意識が強まった。今後も、継続していこうと思います。
- 将来の子や子孫の時代まで、川や海がきれいに自然のめぐみが残せますよう私たちが努力していかなければと思っています。
- 一人ならいいだろうと思いついてしまいが、常に気をつけていれば、必然的に取り組みを実践するようになるため、各家庭で気をつけてがんばろう。
- 排水には以前から気を付けていました。個々が気をつける意識がないと、いつまでたっても芦田川は中国地方ワースト 1 からは抜けられない。

◆ 問い合わせ ◆

◎ 芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）事務局 担当：西口

住 所：〒720-8555 エフエムふくやま内 芦田川環境マネジメントセンター

（広島県福山市西町 2-10-1 福山商工会議所ビル 1F）

電 話：担当 西口 090-2381-6619 FAX：084-920-8778 E-MAIL：aemc@fm777.co.jp

ホームページ：http://fm777.co.jp/pc/aemc/index.htm

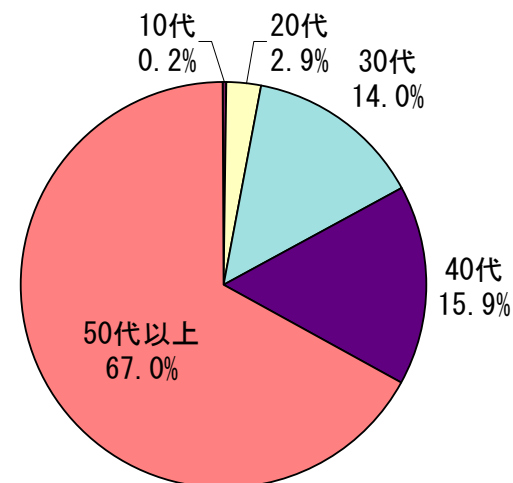
アンケート調査結果（2/4）

Q1 あなたの年代をお答えください。

Q1	回答者年代割合
10代未満	0
10代	2
20代	25
30代	123
40代	138
50代以上	582

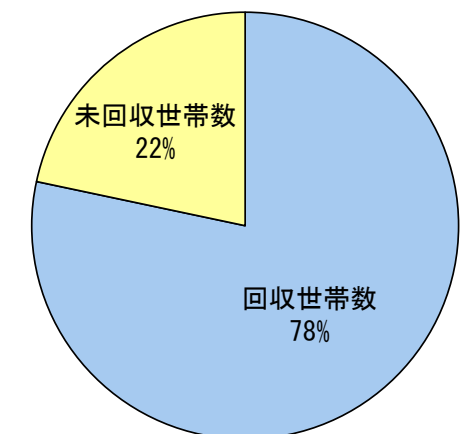
＜結果の概要＞

- ・50代以上の世帯が半数以上を占めておりますが、40代以下の世帯にも取り組みを広めたいと思います。



【 アンケート回収状況 】

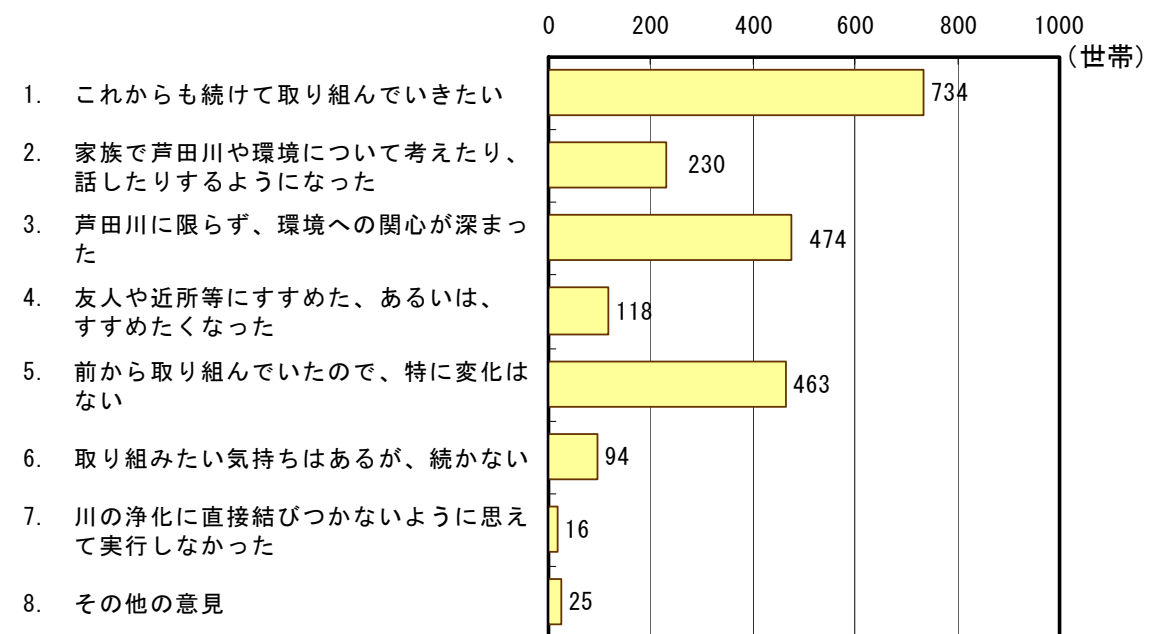
参加世帯数	1250
回収世帯数	896
未回収世帯数	248



Q2 「水質浄化の取り組み」を実行して、感じられた事、行動の変化等はいかがですか？

＜結果の概要＞

- ・「これからも続けて取り組んでいきたい」「芦田川に限らず、環境への意識が高まった」という意見がアンケートを回収した人の約半数以上と多い結果となりました。
- ・半数近い人が前から水質浄化の取り組みを実践しているという意見がありました。



※意見に対する事務局の回答を緑字で示しています。

〔 8. その他の意見 〕

- 良い事は一人一人が気づき勉強して、良い事は進んでしたいと思い家族で話し合いました。
- 個人個人が努力すれば必ず水はきれいになります。出来るだけ多くの人々と協力していきたい。
- 女一人で何も考えていませんでしたが、これからは気をつけます。
- 浄化槽を設置しているので、常に注意をしている。
- 小さな努力を継続する事の大切さを日頃より感じています。これ位はいいだろうと思わずに気づいた事は実践するつもりです。

- 台所の排水口にはネットをかけています。風呂には入浴剤は入れない。
- きれいにする事は当然で⑥、⑦番は思ってもいません。
- 川へのたれ流しは、今の時代には考えられない。
- タバコのカスを水路の中に流さないようになった。
- 芦田川や近隣の河川(その周辺)がきれいになれば嬉しいです。
- 芦田川だけではなく全ての事について、生きていくために大切である事を各自が認識しなければいけないとしみじみ感じます。特に水は大切な資源ですから、毎日取り組みを続けてきれいにしていきたい。
- 私たちの地区には、田んぼもあり、稲作時期（夏期）には多分に汚れた水が農水として利用される中に混入していると思います。というのも、ここ近年、藻の異常な発生に困っております。なんとか私が子どもの頃の水に戻って欲しいですね。
- 煮物（おでん等）の汁がでた場合、どのように処理すればいいのかよくわかりません。
⇒ ペット等の餌や農園芸用への利活用が困難な場合、余った汁等は、新聞紙などの紙類にしみ込ませて燃やせるごみとして出してください。
- 以前から取り組んでいる事は、ごく自然に身についているので違和感がありません。でも新たに何かをと思った時に続かないのが現状です。特に洗剤の量を減らす事はできません。
- 男一人で汚れもでてない、出来ない。
- 「浄化実験」に今回、津之郷町を選定された理由は？光南町、住吉町などの市街地でないのは？下水道整備など行政的措置がされていない地域だからと考えてならないのですが。環境保全のための意識を日々の生活の中でもつ事は大切だと思いますが、同じ福山市市民として行政的措置の「差」を逆に意識してしまいました。（下水道整備や合併浄化槽への助成、拡充措置等）
⇒ 芦田川の水質改善という当センターの活動目的から、芦田川流域（芦田川に水が流れ込む地域）を対象としており、光南町、住吉町は流域外となるため対象外となります。また、地区の選定にあたっては、芦田川流域で人口が多い瀬戸川流域を選定し、さらに水路の状況から取り組みの効果を把握しやすい地区を選定しております。

アンケート調査結果（３／４）

Q3 「水質浄化の取り組み」を実行した結果、どのように暮らし方に変化が現れたかをお尋ねします。

Q4. 『河川浄化社会実験』について、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください

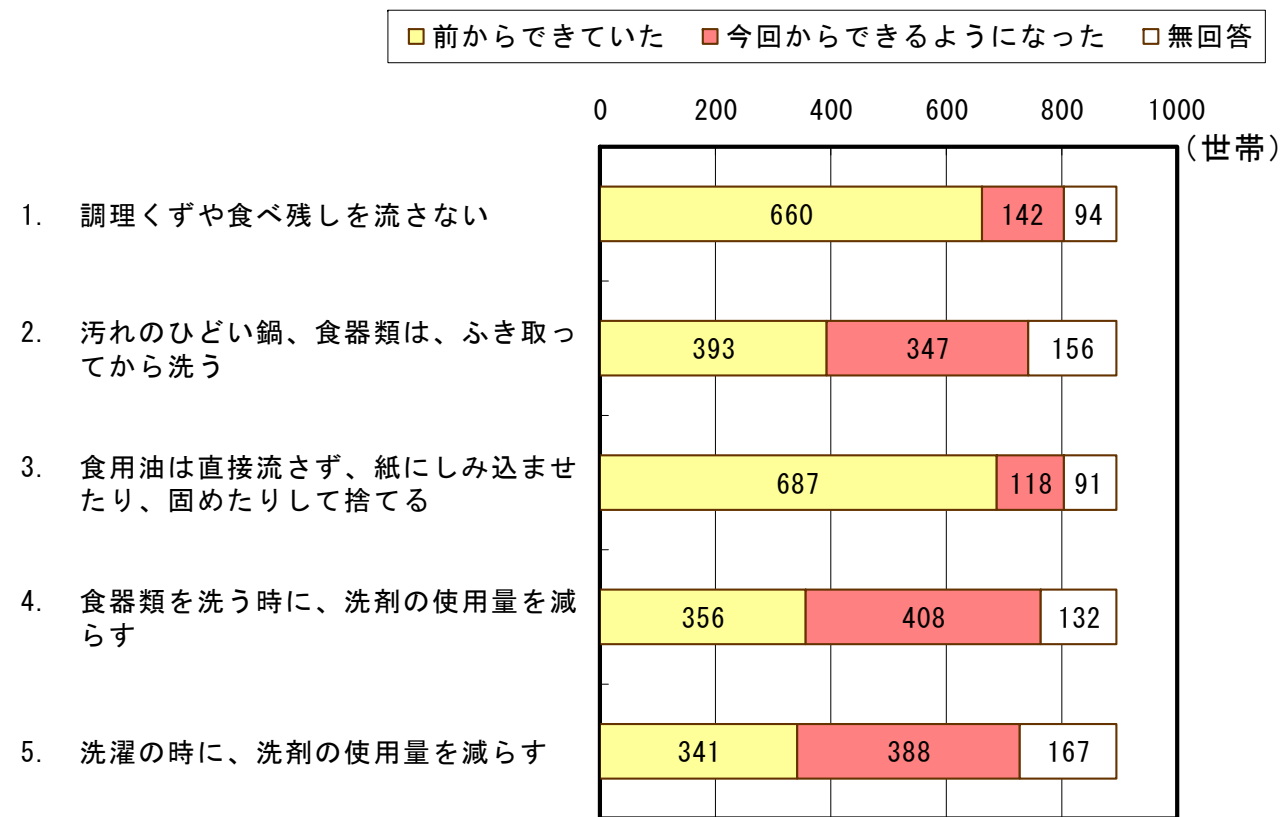
<結果の概要>

- ・「調理くずや食べ残しを流さない」「食用油を流さない」という項目は８割程度の人が以前から実践されていました。

<結果の概要>

- ・意識の変化や今後の取り組みへの決意など、流域全体へ取り組みを展開していくことが期待できる積極的な意見が多数見受けられました。
- ・参加者の中には、今回の社会実験より前から、水質浄化の取り組みを実践されている方も多くいました。

※意見に対する事務局の回答を緑字で示しています。



- 一人一人の取り組みがいかに大切かよくわかりました。これが大きな輪となっていき、環境への関心が深まっていく事を願っています。

- この実験を通して意識が強まった。今後も、継続していこうと思います。

- 一人ならいいだろうと思い流してしまうが、常に気をつけていれば、必然的に取り組みを実践するようになるため、各家庭で気をつけてがんばろう。

- みんなが努力する事で環境の方が良くなる事を、このような事を通じて実感出来ると良いと思う。

- 川はいつもきれいな水が流れてほしい。出来るだけ毎日の生活の中で注意し、実行したいと思います。

- 自分の家に浄化槽がある場合、この取り組みがどう生きてくるのか、よく分かりませんでした。

⇒ 合併浄化槽が設置されている場合でも、家庭排水が汚れていると、浄化槽に負荷がかかりますので、水質浄化の取り組みは浄化槽の負荷を軽減する有効な手段となります。

- 将来の子や子孫の時代まで、川や海がきれいに自然のめぐみが残せますよう私たちが努力していかなければと思っています。

- 団地の污水处理施設を自分たちで管理しているため、排水には以前から気を付けていました。個々が気をつける意識がないと、いつまでたっても芦田川は中国地方ワースト１からは抜けられない。根本的な改善が必要であると思う。

アンケート調査結果（４／４）

Q4. 『河川浄化社会実験』について、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください

- この実験は良い事だと思います。私は日頃から実行しているので特別な事ではないのですが、広く定着すれば成果があると思います。
- これからも頑張って、毎日続けたいと思います。美しい川になるように願っています。
- 下水道の整備を早くしてほしい。
- 河川浄化社会実験も良いのですが下水道の完備を早く行なう事が効果大と考えます。
⇒ 河川浄化に直結する下水道整備は、徐々に進められてはいますが、費用と時間を要するため整備率はまだ低い状況です。このため、芦田川流域に住む方々の家庭から出る排水をきれいにすることで、芦田川を守っていかなければならないと考えています。また、下水道が整備されていても、家庭排水が汚れている程、下水をきれいにするための費用がかかりますので、水質浄化の取り組みは下水処理の負荷を軽減する有効な手段となります。
- 芦田川の汚れが以前から気になって、食器の汚れをふき取ったり、油を流さないように気をつけたりしてきた。どの家庭も「まあうちはいいだろう」という意識は捨てて、一人一人が気をつけて行動すれば、芦田川はきれいになると思う。これからも下水を汚さないよう気をつけていきたい。
- 一人一人が実行する事で、町全体が少しでも環境に役立つので続けていく事の大切さ、これからも続けていこうと思います。
- 前回の浄化実験の折、お聞きした色々な話を参考にしながら今もずっと気をつけているつもりです。
- いつも病院に行く時、芦田川沿いの道を通っています。芦田川がとてもきれいに見えます。以前に比べてごみとかが流れていません。河川浄化に取り組んでいるからですね。自分たちの住んでいる町の川がきれいだと、とても気分が良いですね。これからも水質浄化に取り組んでいきたいと思います。
- 三角コーナーにネットをかける事について。プラスチックのネットだと、それ自体がごみになるので、自然に分解する素材にするなど工夫が必要だと思います。
- 油類、汚れ、煮汁等の吸着用紙類の燃やせるごみが増加した。
⇒ ご指摘のとおり、燃やせるごみの増加による CO₂ 排出量の増加という地球温暖化の問題は地球規模の環境問題であります。同様に、身近な芦田川をはじめとする河川等における水質汚濁も自然に影響を及ぼす環境問題です。このため、温暖化、水質汚濁の双方に配慮した“無駄のないライフスタイル”を心がけることが大切であると考えられます。

- 芦田川が中国地方の一級河川でワーストワンが長年続いている一番の理由は何なのでしょう？流域住民の環境に対する意識や行為が他に比べて低いからなのですか？今回の取り組みが環境保全に対する意識向上、啓発的事業であるなら、全市的に取り組むべきだと思います。あわせて、根本的な解決のための行政的なビジョンやプランをこの取り組みの中でも明示すべきです。「地域限定住民心がけ主義」では行政責任の地域住民への転化の様な気もして嫌な気持ちもしました。この取り組みの総括の中でぜひ回答をお願いします。

⇒ ワーストワンの理由として、下水道の整備率が低いことも要因に挙げられますが、もともと河川の水量が少ないうえに河川の水の利用量が多いため、家庭からの排水によって河川の水が汚れやすいことが要因と考えられます。水質浄化の取り組みは、流域全体へ普及していきたいと考えており、けっして、「地域限定主義」なく、今回の社会実験をモデルケースとして、今後、規模を拡大していきたいと考えております。

- Q2 の項で、私の思いの一端を書かせて頂きましたが、汚れの水だけでなく、ビニール、特に袋(菓子など)、ペットボトル、空缶、犬の糞など捨てないように一人一人が心がけなくてはならないと思います。また農水なので、沿道側の田んぼに車の窓から投げ捨てられるタバコの空箱、菓子の袋、弁当の空、ペットボトル、ドリンクの空びんなど、マナーの悪い方に困り、悲鳴をあげています。

- 家の前のみぞ川には誰かが、いつもごみ（ペットボトル、プラスチック袋など）を投げ捨てて困ります。人が見ていないからと捨てる人が多い事に驚いています。実験をより多くの人が取り組みたいものです。

- 芦田川沿いを車で走っていた時、以前よく見かけていた鳥が最近は少なくなったような気がします。芦田川の汚れにより、鳥類にも変化が見られるようになったのかと心配しています。

- 家庭排水については、勿論意識していますが、河川にごみ等を放置すると、やがて段階で水に溶け出すのではと思って心配です。

- 以前から実行していたので、今さらという感じです。こんな大きな紙を使う事が環境を悪くする一因です。

- アンケート用紙が大きすぎる気がします。
⇒ 見開きでみやすくするため、文字や用紙を大きめにしました。